

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会ニュース

第28号

平成22年5月6日発行
事務局
県立青少年センター
科学支援課
☎045-263-4470

新会長あいさつ

県立青少年センター 館長 さんべ まさよし
三瓶 正義



会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
このたび、4月1日付けの人事異動で青少年センターの館長（県民局青少年部長と兼務）に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、併せて協議会の会員の皆様には、県立青少年センターの事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、社会ではリーマンショック以降、経済の低迷や混乱に引きずられるように様々な変化が起こっています。昨年は政権が変わり、事業仕分けが大きな話題となりました。その中で、スーパーコンピューターをはじめ科学分野もとりあげられ、その結果に対し、ノーベル賞受賞者が集まり緊急アピールが出されるなど注目もされました。教育の現場では、ゆとり教育から学力向上への見直しがされ、指導内容の見直しと科学体験や実験の重要性も取り入れられたところです。同時に、子どもたちの表現力、伝達力の向上も図るため、実験の話し合いや終了後のレポート作成なども行うこととしています。このような中、「子ども科学探検隊」「青少年科学作文コンクール」等、私たち協議会が続けている主催事業はおおいに意義があると言えるでしょう。これらをはじめ、協議会事業は、会員の皆様の熱意あふれる取組みのお陰で、多くの県民の方々からご好評をいただいております。今後も協議会として、先進的な視点を持ち、学校とは一味違った観点の事業など、会員間の連携を深めますますます充実していきたいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

平成22年度のメンバーです。よろしくお願いいたします！

会長 三瓶 正義 館長（県東京事務所長より）
事務局長 杉坂 郁子 科学部長
事務局次長 佐藤 和彦 科学支援課長（科学情報課長より組織名称変更）
事務局担当 平田 太一 主任技師（県立金沢総合高等学校より）

平成22年4月1日付け異動

前会長 中山 健一（退職）
前事務局次長 山本 博司（寒川町立寒川東中学校教頭へ）
前事務局担当 築瀬 公成（県立横浜桜陽高等学校へ）

県立青少年センター科学部の組織、課の名称が変わりました。
県の組織改変に伴い、事務局である県立青少年センター科学部が2課（科学情報課・科学人材課）から1課になり、科学部科学支援課となりました



来場者数
502名でした



横浜大会

お天気にも恵まれ、昨年度を100人以上上回る入場者で賑わいました。ご出展いただいた皆様、ありがとうございました。



開場前から長い列が

4月26日(土)青少年センター

翌日の神奈川新聞で紹介されました



コンクリートの科学(トラボクラブ)

科学って楽しいね

横浜で子ども実習イベント

子どもたちに科学の楽しさの実験など、内容は多岐にわたる。県内に拠点を置く企業や研究機関、市民グループなどが講師を務めた。コンクリート製の「ペーパー」が24日、横浜市の青少年センターで開かれた。県が4カ所で開催している行事で、横浜では3回目。カラー写真や風船ロケットの手作り、モールス通信

(高橋 融生)

セメントと石でかためた実験はとっても楽しくて宝物になりました
(来場者アンケートより)



コンクリートを溶かす実験に参加する子どもたち(横浜市西区)

写真のところがとても面白くてよかった
(来場者アンケートより)



カラー写真を作ってみよう! (富士フイルム株式会社)

いろんなものが作れてすごく楽しかったです
(来場者アンケートより)



工作コーナー (かわさきアトム工房)

すごく面白くてわかりやすかった
(来場者アンケートより)

燃焼と爆発の実験がよかった
(来場者アンケートより)



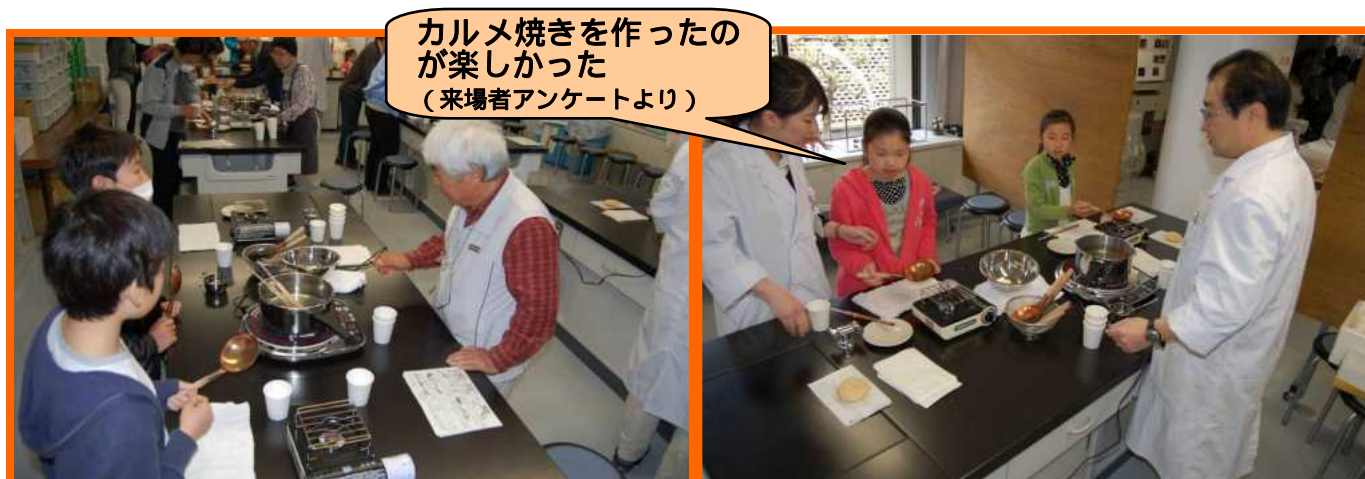
おもしろ物理実験
(おもしろ実験配達人さとうやすし)

おもしろ実験ショー
(おもしろ実験指導者セミナー卒業生)

どのブースも大盛況でした！



深海、海洋に関する体験(海洋研究開発機構)



カルメ焼きをつくろう(青少年センター科学部)



モールス通信・かんたんピンホールカメラ(紅葉ヶ丘無線クラブ)



野菜についてとてもよくわかりました。はじめて見る花もあり驚きでした
(来場者アンケートより)

心に栄養、やさしいエンス！
(科学ボランティア おもしろ実験セミナー卒業生)



ロケットがたのしかった
(来場者アンケートより)



ロケットを飛ばす実験が迫力があってびっくりしました
(来場者アンケートより)

宇宙に関する体験 (宇宙航空研究開発機構)



クロマトフラワーでしおりを作ったのかわいいうしおりができました
(来場者アンケートより)

クロマトフラワーをつくろう(青少年センター科学部)



カモメンは人気者でした

カモメンのペーパークラフトをつくろう！神奈川県商工労働部

サイエンスフェスティバルで 大学生ボランティア大活躍

関東学院大学 鎌倉女子大学
相模女子大学 横浜国立大学

小学校の先生を目指す大学生の皆さんもボランティアで、スタッフとして参加してくれました。子どもたちへの対応もさすがで、来場者からは大好評でした！



青少年のための科学の祭典 神奈川大会
出展者募集

開催日：平成 22 年 8 月 8 日（日） 10:00～16:00

会 場：神奈川県立青少年センター

詳しくは同封させていただいたお知らせをご覧ください。
ご参加いただける方は同封の「参加申込書」を6月4日（金）
までに事務局までお送りください。



新事務局担当です。よろしくお願いします！

科学部科学支援課 平田 太一

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
このたび、4月1日付人事異動で県立青少年センターに着任し、青少年科学
体験活動推進協議会の事務局員に任命されました平田太一と申します。

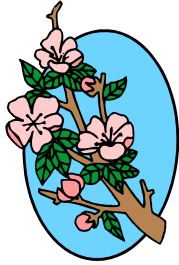
前任の築瀬公成同様、よろしくお願いいたします。日頃から協議会の会員の
皆様には、当センターの事業へのご理解とご協力を賜り、感謝いたしております。

現在、事務局では「子ども科学探検隊」の申し込みはがきの受付をおこなっ
ております。コースによってはすでに定員を超えてしまっており、ご好評をい
ただいている状況です。申し込みはがきを拝見していると、必要な事項の他に
子どもたちの参加に向けての意気込みがひしひしと感じられるものがいくつ
あり、この事業を通じて子どもたちの知的好奇心が満たされ、たくさんの笑顔
をみることができればいいなあと考えております。

今後とも、理科好き、ものづくりの好きな子どもを増やすために、皆様と連
携しながら多くの事業を実施してまいりたいと考えております。不慣れなため
皆様にご迷惑をおかけする場面もあるかと思いますが、今後ともどうぞよろし
くお願いいたします。



先日、初節句を迎えた息子の丈人（たけと）です。



お知らせ

昨年度より、「地域版 ミニ科学の祭典」として「子どもサイエンスフェスティバル」を県内各地域で開催しています。

今回の「科学の祭典」のご案内と同じようなイメージでご協力をいただけると幸いです。どうぞご予定いただけますようお願いいたします。

7月頃に改めてご案内、ならびに出展申込書をお送りいたします。

子どもサイエンスフェスティバル 地区大会

県央地区大会 22年12月18日(土) 大和市生涯学習センター

湘南地区大会 22年1月30日(日) 藤沢市教育文化センター

県北地区大会 23年2月11日(祝・金)

相模原市立青少年学習センター

県西地区大会 23年2月19日(土)

小田原市生涯学習センター けやき

昨年度の様子は、以下のページをご参照下さい。

<http://www.kanagawa-yc.jp/kagakukan2009/kodomoscience09.html>

「インターネット科学館」 「資料」 「平成21年度の科学部の事業」

「青少年センター館外で行った事業

【子どもサイエンスフェスティバル地区大会）】」